



浅口市立鴨方西小学校

# かもしNOW

(文責 校長：三浦 嘉子)

R 5 . 1 0 . 2 6



今週はあさくち教育週間です。23日の来校者は2名でしたが、24日は8名、25日はなんと31名の方々にお越し頂きました。子どもたちが、教室や体育館やパソコンルームで、色々な学びに挑戦している姿をご覧頂きました。今週いっぱい教育週間は続きますので、保護者の皆様、地域の皆様、ご来校、お待ちしております。

## 【にこにこ秋祭り(1・2年生)】

1・2年生は、25日に「にこにこ秋祭り」を開催し、保護者の方々と学校運営協議会の会長・副会長を招待しました。

秋祭りのお店の準備、司会進行もすべて児童が担当しました。的当ての玉にはどんぐり、魚釣りの釣り竿には磁石を活用、車には風を受けて走る工夫を施したり、どの作品にも創意工夫が見られました。お店は大盛況で子どもたちは大満足、保護者の方々にも喜んで頂けたのではないのでしょうか。



## 【プログラミング学習～ロボホンを操ろう(5年生)】

5年生は、25日、ロボホンを使ってプログラミング学習を行いました。ロボホンとは、「会話、歌、ダンス」を簡単にプログラミングでき、プログラミングの結果を実物のロボットの動きで見ることができる教材です。自分の考えている動作をプログラミングして、ロボットの動きを見て修正を加え、試行錯誤しながら進めました。



児童の振り返りを紹介します。

- この世の中では色々なプログラミングで動いているものがあるんだなと思いました。僕はどんなプログラミングなのかがすごく気になったので調べてみたいし、プログラミングに興味が増えました。
- ロボホンで失敗するからこそ、学びも増えて知識も増えるんじゃないかなと思いました。もしかしたら日常生活のあらゆるところにプログラミングが使われているかもしれない。信号などで動きを少しでも間違えるとパニック、事故などが起きてしまう。プログラミングはとても大切だなあと感じました。

## 【阿部山の学習～阿部山の魅力をさぐろう～(6年生)】

10月26日、6年生は、鴨方西小学校の分校「阿部山分校」(現在は休校)がある阿部山にいきました。

まず初めに阿部神社を見学しました。この神社は阿部山入植者の手によって建立された神社であること、この地が「陰陽師・安部晴明の天体観測地」であることから、この山が阿部山と呼ばれるようになったことを学びました。



【阿部神社見学】



【安部晴明ゆかりの地】



【分校にて、分校の歴史・花木を学ぶ】



【黄金ひばの畑を見学】

次に、鴨方西小学校の分校を訪れ、分校の歴史や阿部山で育てられている花木について学びました。かつては、1年生から3年生が分校で学び、4年生に進級すると片道2時間かけて本校まで通っていたと聞き、先輩鴨西っ子の苦勞を感じている6年生でした。その後、石化エニシダ、黄金ひばなど、たくさんの花木を見せて頂き、これら阿部山で育った花木が、中国・四国地方だけでなく、近畿・九州、遠くは名古屋・東京まで出荷され、著名な華道家の作品にも使われている事を知りました。阿部山の花木がとても貴重であること、生産者さんは、これらの花木を育てるために阿部山に住居をかまえておられることなどを伺いました。

半日で、阿部神社・安部晴明、阿部山分校、阿部山で育てている種々の花木とその流通など、多くを学びました。原さん、横山さん、山内さん、色々と教えて頂き、有り難うございました。

今、6年生は、総合的な学習の時間を使って、「鴨方の魅力を発信しよう」というテーマで学びを進めています。阿部山だけでなく、1年～5年生までの間で学んだ地域学習も含め、発信内容や発信方法を検討中です。我らの鴨方には、たくさんの魅力があり、その魅力を浅口市全域、更には岡山県の人々に「伝えたい」ので、しっかりと学んだことをアウトプットできるように進めます。